

まちづくり
だより

かみてる

NO. 54

広報

2018 9/15号



国宝 きんぎんとすかしぼり は こ
金銀鍍透彫華籠



日出山神照寺

発行 地域づくり協議会 (ホームページアドレス <http://kamiteru-machisen.jp>)

問い合わせ 神照まちづくりセンター 神照町 286-1 TEL 62-0265 FAX 64-2752

第1回 日出山 神照寺

神照寺は、宇田天皇の勅命により建立された真言宗の寺院です。この寺院には、平安、鎌倉時代の仏像、仏画、仏具が多数残っています。

国宝の金銀鍍透彫華籠（華籠は法会の時花を盛って本尊に供えられる皿）は、鎌倉時代初期の物で、わが国の代表的な作品です。デザインも素晴らしく、たがねを用いて彫られた透かし模様は、現在でも真似できない彫金技術だといわれています。その他にも、いろいろな重要文化財等がたくさんあります。

一方「萩の寺」としても名高く、神照寺境内の萩は、室町時代の初代將軍足利尊氏が、弟の直義と和議のために訪れたとき、植えられたと伝えられています。境内に群生する約1500株、2万本もの萩の花は、長浜の秋の風物詩です。細長い枝に稲穂状に花をつけます。境内には可憐な赤紫色、白色、ピンク色の萩の花が咲き乱れます。（9月上旬から下旬頃）。

…表紙の写真は萩の花



神照地区地域づくり協議会は、7月4日神照寺の境内に萩を囲う竹の柵を設置しました。同協議会では「文化遺産を守り、地域住民にその素晴らしさを知ってもらう」と、神照まちづくりセンターを利用している諸団体にボランティアを募集し、当日は神ゆうくらぶ、神照地区民生委員・児童委員協議会、神照地区老人クラブ連合会など、約30人が参加し、杭を打ったり縄で竹をくくったりして柵を作りました。



～ 【神ゆうくらぶ】 からおさそい ～



神ゆうくらぶは、神照地区に居住する高齢者を中心とした集まりです。ウォーキング、グランドゴルフ、料理などの文化教養実習、ボランティア活動等々の多種多様な事業を、年間を通じて行い、会員相互の親睦を図り仲間づくりを広げると共に自身の健康と生きがいづくりの場として活動しています。

10月4日には、近江商人のふるさと・五個荘の街並みを訪ねるウォーキングを予定しています。

（お問い合わせ先 神照まちづくりセンター 電話 62-0265）

神照地区社会福祉協議会



7月5日（木）に神照まちづくりセンターの多目的ホールで行われました神照地区社会福祉協議会主催の「高齢者お楽しみ会」には、悪天候にも関わらず 99 名もの高齢者の方にご参加いただきました。

午前の部は伴奏に合わせてみんなで歌を歌ったり、新吉野流勝登美会のみなさんの日本舞踊を鑑賞したり、いっしょにみんなで踊ったりしました。午後の部は、昼食をはさんで地元歌手のすばらしい歌謡ショーで大いに盛り上がり、本当に楽しい 1 日となりました。

～サークルからのご照会～

今回、神照地区社会福祉協議会の「高齢者お楽しみ会」にご出演いただきました、新吉野流勝登美会のみなさんは、毎月 3 回、神照まちづくりセンターで日本舞踊の練習を重ねておられます。

お楽しみ会では素晴らしい踊りだけではなく、卓越した話術で会場を和ませてくださいました。

勝登美会のみなさんは地元敬老会や介護施設等への慰問も精力的に行っておられます。

日本舞踊に興味のある方は、ぜひこのサークルにご参加されませんか。

神照まちづくりセンターでは、その他、日本舞踊、大道芸、囲碁教室や社交ダンス等様々なサークルが開催されています。



お問合せ先 62-0265（神照まちづくりセンターまで）

クリーン作戦



平成 30 年 6 月 25 日（月）に実施されたクリーン作戦には、蒸し返すような暑い日にも関わらず、北中学校の生徒や神照地区民生委員・児童委員協議会、神ゆうくらぶ等のボランティア、約 160 名の方が参加されました。

神照運動公園や学校周辺等、学区内を約 1 時間にわたり空き缶やタバコの吸い殻など、様々なごみを回収しました。

今回の清掃活動を通じて、参加された生徒たちとボランティアとの間に絆が生まれ、神照地区がいつまでも、あたたかで住みよいきれいな地域であり続けてほしいと思います。

神照地区青少年育成会議（くむんだー）



6月30日（土）に神照まちづくりセンターで行われた神照地区青少年育成会議主催の「くむんだー」。当日は、午前・午後の2部に分かれて60人近くの子どもたちが参加し、国産材でできた柱、



ぬき貫、クサビを木槌を使って、自由に組み立てていきました。組み立てること、解体（片付け）することが楽しくて夢中になって取り組む子どもたち。みんな立派な大工さんですね（^.^）

かみてる こども広場



7月28日（土）に神照まちづくりセンターで行われた今年度2回目の「かみてる こども広場」には、22名の子どもとその保護者やボランティア等、53名が参加し、「ペットボトルを使ったかざぐるま作り」や「夏休み宿題教室」、その他、いろいろなブースでみんな楽しい体験をすることができました。

昼食は、手作り野菜カレー。本当においしかった



ですね。

神照地区地域づくり協議会では、今年度6回の「かみてる こども広場」の開催を予定しています。

※日程等は、神照まちづくりセンターのホームページをご参照ください。

(<http://kamiteru-machisen.jp>)

第 19 回 神照親善ビーチボール大会（結果）



6月17日（日）に長浜北小学校・神照小学校体育館を会場に14チーム約90名の選手が参加され盛況に開催されました。

決勝戦は、大熱戦の末、北新暁町・北新東町合同チームが、スコア2－1で相撲町を破り、優勝しました。

優 勝 北新暁町・北新東町

準優勝 相撲町

第3位 神照町

神 照 地 区 健 康 推 進 員 便 り

神照地区健康推進員です。

私たちは、「栄養」「運動」「休養」「健康」「生きがい」を五本柱として、色々な啓発活動を展開し、神照地区に密着した、健康推進活動に取り組んでいます。

塩分の摂り過ぎは、高血圧やガンなどの恐ろしい病気を招くといわれています。私たちは、生活習慣病予防の為に、減塩活動を推進しています。

まず、調味料からの摂取量を見直しましょう。

家庭でできる上手な減塩のコツ！

①調味料や食塩に含まれる塩分量に注意しましょう。

（塩分摂取量の67%が調味料からの塩分）

②塩分の少ない調味料を上手に使いましょう。

③調味料は「かける」より「つける」ようにしましょう。

④調味料は計量スプーンやはかりで使用料を確かめてから使用しましょう。

⑤素材の味を生かしましょう。

⑥香辛料や酸味、香味野菜などを上手に利用しましょう。

⑦加工食品は控えましょう。

（以上、インターネット情報より抜粋）

十月二十七日、二十八日の神照ふれあいフェスティバルでは、「減塩お味噌汁」の試飲を計画しています。この味をご家庭でも実施していただきたくて、塩分測定器の貸し出しをします。測定器の貸し出しをご希望の方は、神照まちづくりセンターにご連絡ください。折り返し連絡させていただきます。

「私達の健康は私達の手で」の推進を通して、健康寿命も平均寿命のように全国トップレベルになる事を願っています。

平成三十年度地区長 瀧本 登茂子



まちづくりセンターからのお知らせ

第 42 回 神照ふれあいフェスティバル

日時：平成30年10月27日（土）11：00～16：00

平成30年10月28日（日）9：00～15：00

場所：神照まちづくりセンター

※詳しくは、10月中旬配布予定のチラシをご確認ください。

- ・サークル発表
- ・餅つき
- ・ポップコーン
- ・綿菓子

その他、露店や子ども広場等いろいろなイベントがあります。楽しみに！



～神照ふるさと紀行～

保田町夏祭り

保田町の夏祭り

私たちの住む保田町では、毎年、地蔵盆の時期が来ると夏祭りが行われています。今年で6年目を迎える夏祭りは、子どもたちのために町民のサークルチームが協力して地蔵祭を盛り上げようということから始まりました。以来、この夏祭りはこの町の大切なイベントとなっており、子どもから大人まで楽しめる行事となっております。

夏祭りの夜は、明かりが灯り、町民たちの笑顔を照らしてくれます。かき氷やフランクフルト、イカ焼きやたこ焼きなども用意され、祭りをより一層盛り上げてくれます。

特に夏祭りを盛り上げる最大の目玉は、川に放たれた鮎のつかみ取りです。鮎は、子供会のために松岡水産様からの熱いご厚志で毎年提供いただいております。

子どもたちは捕まえた鮎を焼いて美味しくいただきます。

夏祭りの締めは、夏の風物詩である花火を行います。新たな夏の思い出として子どもたちの記憶に刻まれるでしょう。

保田町の夏祭りは、町民だけでなく、帰省している子どもたちやそのご家族も参加されます。

また、高齢者の方々がお孫さんを連れてこられる姿は非常に微笑ましく感じられます。

子どもたちがはしゃいでいる姿を見ると、私たちは子ども時代の記憶が鮮明によみがえります。

仁愛ある方々が住むこの町で私たちは生活しています。古き良き町である保田町をより一層活性化させ、子どもたちの健やかな成長を願っています。

